



平成27年8月10日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所

伊勢湾の防災対策を学ぶ

中部地方整備局「大人の社会見学」を開催

■概要

中部地方整備局では河川や道路、港湾の整備事業をもっと身近に感じていただくために、普段はなかなか目にすることのない工事現場等を公開する「旬な現場」の取り組みを実施している。

8月5日、愛知県在住の大人の方を対象に「大人の社会見学」として、伊勢湾の防災対策に資する「旬な現場」を公開。この見学会は、中部地方整備局企画部が企画し、名古屋港湾事務所、木曾川下流河川事務所が協力し開催したもので、今回は社会資本整備に関心を持つ方々15名を招待した。

■「大人の社会見学」とは

社会資本整備の必要性や災害対応等についてより深く理解してもらうことを目的に、企画部が中心となり、詳細な説明会と工事現場等の見学を併せて実施するもの。

■行程

＜8月5日(水) 9:15～13:00＞

名古屋港弥富ふ頭（弥富市）に集合し、名古屋港の施設概要や防災対策の説明を受けた後、名古屋港湾事務所所有の港湾業務艇「翔龍」と、木曾川下流河川事務所所有のパトロール船「すいごう」の2隻に乗船。

木曾三川河口部と名古屋港・常滑港の2コースに別れて各施設を見学した。

名古屋港湾事務所では、名古屋港・常滑港のコースを案内。名古屋港弥富ふ頭を出発し、名古屋港高潮防波堤、耐震強化岸壁、浚渫兼油回収船「清龍丸」、浮体防災基地を船上より見学。



名古屋港高潮防波堤



浚渫兼油回収船「清龍丸」

その後、海上交通センター展望室より、ポートアイランド、自動車輸出基地やコンテナターミナルを一望、名古屋港弥富ふ頭に戻った。



浮体式防災基地(金城ふ頭)

■見学の様子

見学者は、海上から見る名古屋港を熱心に写真におさめていた。

また、高潮防波堤では、「防波堤の高さはどのくらい?」「津波に対して大丈夫?」などと質問し説明者から、防波堤の高さは N.P.+8.0m(T.P.+6.6m)であることや、想定される大きな津波に対しても大丈夫なように設計していることの説明を受けていた。

(見学の様子の写真は別紙)

■配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

■問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所

企画調整課 板生(いたお) TEL 052-651-6763 FAX 052-652-0303



■見学会の様子



名古屋港概要説明の様子①



見学の様子②



名古屋港概要説明の様子②



見学の様子③



見学の様子①



見学の様子④